

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040071

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事業優先度	A		
単位施策	3	町民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	地域交流センター整備事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	施設の整備		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	施設の整備		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働	無					

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	地域交流センター周辺の整備を行い、道の駅機能としての観光客及びコミュニティ施設としての利用者の利便性及び快適性の向上を図る。			<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール放送設備修繕 ・多目的トイレ用ベビーベッド設置 ・待合ロビー壁修繕 	地域交流センター ・トイレ改修工事～3,153千円 ※H29年度へ繰越	道の駅周辺街路灯 ・LED化改修工事～1,847千円 ※H28年度繰越事業 地域交流センタートイレ改修工事 契約額～3,078千円	
	事業費(千円)	6,000	0	0	1,000	3,153	1,847
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	6,000			1,000	3,153	1,847	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	5,468	0	0	543	0	4,925
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	5,468			543	0	4,925	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
		【評価・実績】			(実施内容等) 契約締結 【平成29年度へ繰越】	(実施内容等) 道の駅周辺街路灯LED化改修工事 地域交流センタートイレ改修工事	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値			施設の整備		施設の整備
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	54%	0%	267%
	全体達成率	0%	0%	9%	9%	91%	
	備考欄						

事業名	地域交流センター整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	福田 泰弘

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	地域交流センター利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設の整備	
【抱える課題やニーズは】	経年による設備、備品の更新	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者の利便性向上	① 施設の整備	目標年度	平成29年度
			目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道の駅機能としての観光客及びコミュニティ施設としての利用者の利便性の向上	②	実績値	1式
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	地域交流センター施設整備	和式トイレの洋式化工事、既存洋式トイレ改修工事		
	地域交流センター周辺整備	周辺街路灯のLED化改修工事		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民及び観光客が多く利用する施設であることから、利用環境の整備が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	利用者数の増加等明確な効果が直ちに発現しないものの、良好な周辺環境整備の維持管理によって利用者のニーズに応えているものと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	施設の企画、規模、必要性を精査したうえで、事業を進めたため、コストを抑制できた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民及び観光客が多く利用する施設整備並びに周辺整備であることから公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 町民及び観光客が多く利用する施設整備・周辺整備であり、今回の整備によって利用者のニーズに応えるものとなった。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持 観光施設及びコミュニティ施設としての利用者の利便性向上を図るため、計画通り事業を進める必要がある。		
--	--	--

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止